



ROBERTET
GROUPE

NEWSLETTER

ロベルテ ニュースター

APRIL 2026 (No. 24)

UPCYCLING APPROACH

香料業界におけるアップサイクリングは、ここ10年ほどで急速に重要性が高まっているテーマです。単なる「廃棄物の再利用」ではなく、サステナビリティ・差別化・新しい香り創出を同時に実現する戦略と言えます。香料業界の主要プレイヤー達も、いくつかのアプローチを実行しています。ロベルテは、CYCLESSENT™コレクションを2020年に発表しています。

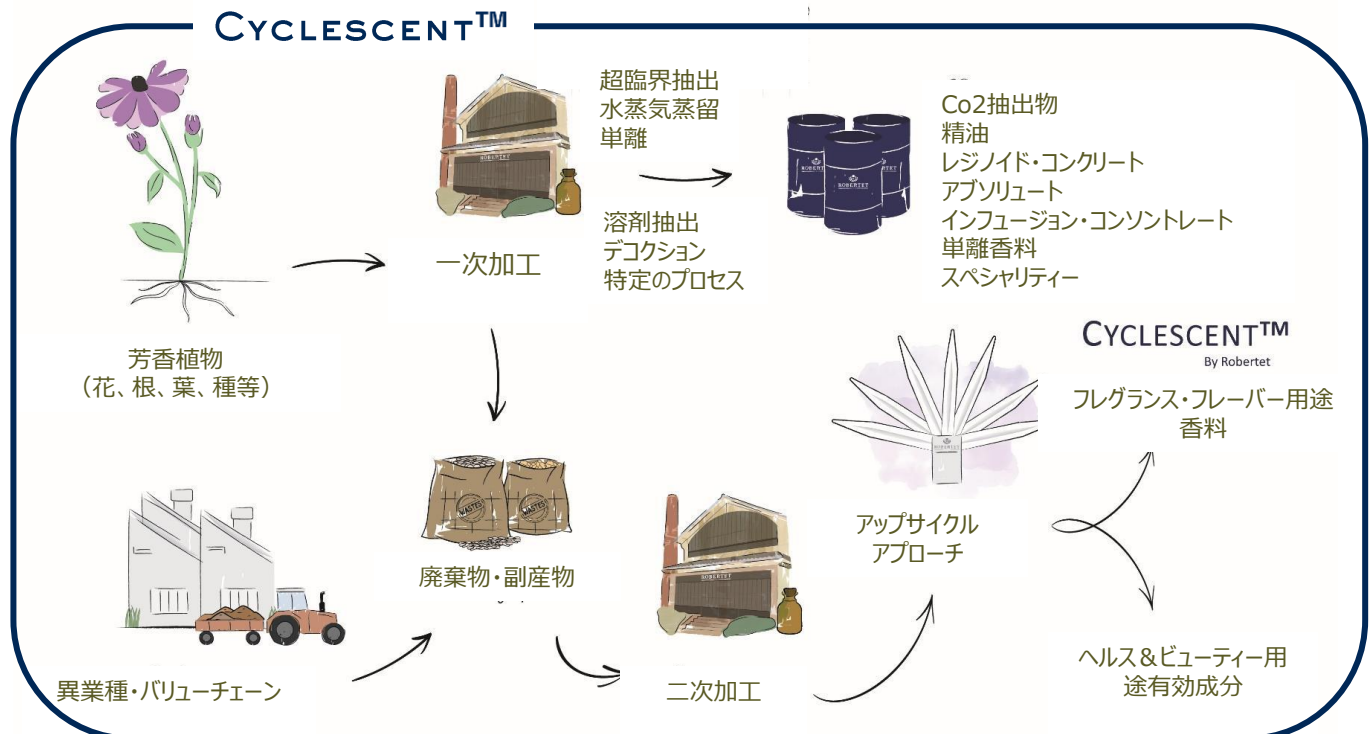
① 副産物・廃棄物の「高付加価値化」：最も基本的なアプローチは、異業種の副産物を香料原料に転換することです。具体例：家具・ワイン樽産業 → 木材チップ、シリアル産業 → 米ぬか、ワイン → 澱等を利用します。こうした副産物・廃棄物を「価値ある香料」に変換することで、資源利用効率を高めています。一時加工の段階で廃棄コストの削減に大きく貢献します。（Oakwood Extract INC TEC R50537, Abs. Son 99050140, Oil Lie de Vin White HE 00020948・・・）

② 抽出・再抽出（セカンドエクストラクション）：従来は一回の抽出しか使われなかった原料に対し、2回目以降（複数回）、別の抽出方法を行います。これにより、従来は捨てられていた成分を新しい原料として利用します。ひとつの出発原料から複数の香り成分・有効成分を生み、「スペクトラム」を充実させ、天然素材を“使いきる”ことにより、より価値あるものにするプロセスです。（Rose Phenylethyl Alc., Rose Polyphenol Powder・・・）

③ 発酵工程等と組み合わせるバイオテクノロジーとの融合アップサイクリング：多くの新しい天然原料を生み出しています。発酵後、超臨界プロセスを行い、これまでとは違う香りを引き出しています。これらのアプローチにより、天然100%の処方に新たな可能性を付与しています。（Pepper White Penja CO2 Extract R90863・・・）

④ サーキュラーエコノミー設計（循環型）アップサイクリング：サプライチェーン全体の循環設計として実装されています。抽出後の残渣 → 肥料・飼料へ、蜜蝋 → キャンドル産業へ等の廃棄ゼロへの取り組みは、地域経済との連携、ESG投資に繋がります。

⑤ マーケティング・ブランド戦略としての活用：アップサイクリングアプローチは、消費者価値の核にもなっています。例えば「廃棄物から作ったフレグランス」というストーリーや、「セカンドライフ・フレグランス」という訴求は、サステナブル志向の若年層に“倫理的でユニークな香り”として差別化されています。



HANDS IN THE SOIL - HARVESTS OF THE MOMENT



IN FRANCE - LICHEN

この地衣類（藻類と菌類の共生によって生まれた独特な生物）は、フランス・欧州だけではなく、多くの国・地域で生育しています。フランスでは全土に見られ、ロベルテはフランス産を使用しています。この共生関係から生まれた原料は、耐久性に優れ、香りの面でも豊かな特徴があります。溶剤抽出でコンクリート、アブソリュートが得られます。

香りは、アーシーで、ややスモーキーなウッディノートを持っています。ややドライでシャープなファセットがあります。深い森の中、森林浴、ナチュラル感を思わせる香りで、非常に残香性の高いフェノール系のニュアンスを持っています。低い配合率でも香りの固定剤（持続性をもたらす）として機能し、ベースノートで全体をブーストしてくれます。

プレステージフレグランスにおいては、オリエンタル、フゼア、フローラルのアコードに骨格を与え、ジャスミン、チューベローズ、ベルガモット、オレンジブロッサム、イランイラン等と完璧に調和します。

色について技術的な制約はあるものの、パーソナルケア製品、およびハウスホールド品にも広く使われています。

アレルギーを含む為、使用量は厳しく制限されています。

IN SOUTH AFRICA - TAGETE

南アメリカが原産地で、北アメリカ、アフリカ、オーストラリア等、温暖で日当たりの良い気候で栽培されています。一年生草本で、草丈は高さ2~3メートルに達することもあります。

深い黄色の花は、香りのポテンシャルがピークに達する3月から6月の間に収穫されます。花はその後、水蒸気蒸留、または、揮発性溶媒抽出によって加工されます。

香りは、フルーティーでハーブのようなプロファイルを持っています。さらに、ほのかにスパイシーで、時にはリキュールのようなニュアンスを帯びたグリーンが特徴で、非常に個性的です。

また、天然のオシメン（Ocimene）も抽出されます。オシメンは、そのフレッシュで明るくフルーティーな側面が評価されている成分で、フレーバーの調合にも使用されます。

フレグランスにおいて、シプレ、フゼア、フローラル、あるいはアルデヒド系の調香に自然に溶け込み、安らぎとナチュラル感をもたらします。シトラス系、ホワイトフローラル、ハイ等のタバコノートのアクセント、ウッディ、フルーティ、スパイシー、ムスキーなノートとも調和します。

供給は安定しています。

